

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	医学部等教育・働き方改革支援事業				担当部局庁	高等教育局	作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 俵 幸嗣	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-				関係する 計画、通知等	新しい資本主義実行計画等『フォローアップ』(令和4年6月7日 閣議決定)	
政策	4 個性が輝く高等教育の振興				主要経費	教育振興助成費	
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	医学部・歯学部における感染症対策と両立しながらの共用試験の確実な実施のために必要なシミュレーター等の教育設備整備や、大学病院における医師等の労働時間短縮や業務効率化に資するICT機器等の整備について緊急的な支援を行う。						
現状・課題 (5行程度以内)	令和5年4月施行の医師法改正等による医学生・歯学生の共用試験公的化に伴い、試験内容の拡充や試験実施の厳格化に対応する環境を整備することが求められている。また、大学病院においては、令和6年4月1日からの医師の時間外・休日労働時間の上限規制適用に向けて、医師勤務時間短縮計画の作成、医療機関勤務環境評価センターによる評価の受審、都道府県への指定申請等の手続きが必要なため、速やかに医師の労働時間短縮や業務効率化に向けた具体的な取組を進める必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	【1】共用試験公的化対応 医学生・歯学生の共用試験公的化に向けて、試験内容の拡充や試験実施の厳格化に対応する環境整備を支援し、公的化後の共用試験を感染対策も万全にした上で確実に実施する。 【2】医師の働き方改革対応 労働基準法等に基づく医師の時間外・休日労働時間の上限規制適用に向けて、各大学病院が確実に必要な特定労務管理対象機関の指定を受けられるよう、ICT機器等による医師等の労働時間短縮や業務効率化に向けた環境整備を支援する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/1324090_00005.htm						
実施方法	補助						
補助率等	【補助率：定額補助】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	-	-	-
		補正予算(B)	-	-	1,470	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	1,470	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲ 1,470	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	1,470	-	
	執行額(G)	-	-	-			
	執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)						
		(目)					
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		【1】共用試験公的化対応 選定大学を対象に、医学生・歯学生の共用試験公的化に向けて、試験内容の拡充や試験実施の厳格化に対応する環境整備を支援									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		公的化に伴う試験内容の拡充や試験実施の厳格化に対応する環境整備	本事業により設備・機器を整備した大学数(補助件数)	活動実績	件	-	-	53	-	-	
				当初見込み	件	-	-	43	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業は、医学生・歯学生の共用試験公的化に向けて、試験内容の拡充や試験実施の厳格化又は診療参加型臨床実習の充実に対応する環境を整備する取組に対し緊急的に支援するものであるため、公的化後の共用試験を確実に実施した大学数をアウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		公的化後の共用試験の確実な実施	公的化後の共用試験実施大学数	成果実績	件	-	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	81		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		医学部等教育・働き方改革支援事業 事業計画書、取組状況調査等									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		本事業は令和4年度補正予算による単年度事業であるため。									

活動内容② (アクティビティ)		【2】医師の働き方改革対応 選定大学を対象に、労働基準法等に基づく医師の時間外・休日労働時間の上限規制適用に向けて、各大学病院が確実に必要な特定労務管理対象機関の指定を受けられるよう、ICT機器等による医師等の労働時間短縮や業務効率化に向けた環境整備を支援								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		医師の業務改善の推進と勤務時間の短縮	本事業により設備・機器を整備した大学数(補助件数)	活動実績	件	-	-	17	-	-
				当初見込み	件	-	-	15	-	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本事業は、労働基準法等に基づく医師の時間外・休日労働時間の上限規制適用に向けて、各大学病院が確実に必要な特定労務管理対象機関の指定を受けられるよう、ICT機器等による医師等の労働時間短縮や業務効率化に向けた環境を整備する取組に対し緊急的に支援するものであるため、令和6年4月の医師の時間外・休日労働時間の上限規制開始までに必要な特定労務管理対象機関の指定を受けた大学数をアウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		令和6年4月の医師の時間外・休日労働時間の上限規制開始までに必要な対応を実施	令和6年4月の医師の時間外・休日労働時間の上限規制開始までに必要な特定労務管理対象機関の指定を受けた大学数	成果実績	件	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	81	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		医学部等教育・働き方改革支援事業 事業計画書、取組状況調査等								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		本事業は令和4年度補正予算による単年度事業であるため。								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
(1,470百万円)

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支
援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。



【補助金等交付】

A.大学(全61大学)
(1,470百万円)

医学部・歯学部における感染症対策と両立しながらの共用試験の確実な
実施のために必要なシミュレーター等の教育設備整備や、大学病院にお
ける医師等の労働時間短縮や業務効率化に資するICT機器等の整備

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
物品費	シミュレーター、AI診断支援システム等	54			
計		54	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

